

元気のあるIT部門、元気の出るIT職場作りのための具体的施策研究

IT人材メンタルヘルス研究会

【 開催のご案内 】

～IT人材へのメンタルヘルス対策は急務です！～

このたびIT協会では、IT部門に働く方々のメンタルヘルス対策研究を目的とした、「IT人材メンタルヘルス研究会」を発足いたします。本案内書をご高覧の上、皆様のご参加あるいはご派遣をお待ちしております。

メンタルヘルス対策はラインとスタッフとの連携が重要です。そのためにも本研究会への人事・労務部門の方とのベア参加をお進めします。1社2名以上のご参加には特別参加費を設定しておりますので、ご活用下さい。さらに、4月中のお申込みには早期割引の参加費を設定しております。詳しくは裏面の参加申込書欄をご覧ください。

日 程

2008年5月～9月（全4回：14:00～17:00）

会 場

東京・港区 日本能率協会ビル 1階 研修室

研究会主査

産業医大ソリューションズ 代表取締役社長 専門産業医 亀田 高志 氏

主な参加対象

- 情報システム部門管理者
- 情報システム部門人事総務管理ご担当責任者
- IT系企業の人事労務ご担当者、
- IT系職場の活性化やメンタルヘルス対策にご関心の方

主催： 社団法人企業情報化協会

企画開催協力：株式会社 産業医大ソリューションズ
社団法人 日本能率協会
株式会社 日本能率協会マネジメントセンター

従業員のメンタルヘルス問題への取り組みの重要性は、近年とみに高まってきました。特にIT部門でのメンタルヘルス対策は、その業務特性から、さらに急務となっています。本人のみならず、上司・部下・同僚さらにはプロジェクトへの影響も大きく、生産性低下の一因ともなっています。

「健康経営」という考え方があります。組織で働く方々の健康を企業の貴重な経営資源と位置付け、健康の問題をリスク管理の対象としてマネジメントしなければならないという考え方は、

実際に、社員の方がメンタルバランスを崩して生産性が落ちたり、遅刻欠勤などが生じれば、個人の問題にとどまらず、企業の収益に影響を及ぼす経営課題ともなります。そのためにも、企業・組織の中の(実効ある)仕組み造りが大切です。

本研究会では、SE、プログラマー、プロジェクトマネージャーを含む各種情報システムの開発や運用に携わるIT業界やIT部門の方々を「IT人材」と定義し、IT人材特有の職場環境や業務特性を踏まえた問題把握と対策を考えていきます。

また、近年急増しているEAPの選定・活用方法などにも焦点を当てます。

研究会開催に当たり、対策/運用の実践ノウハウなど、実際の取り組みに実効ある内容を旨として、「健康経営」の実現を目指し、先行事例のベンチマークを行いながら、元気で活力ある職場創りの一助となることを目的に開催いたします。



- 本研究会では、産業界の亀田先生が毎回具体的な事例に基づくご講演と質疑応答を行います。
- 実践に即した内容構成とし、質疑応答・相互討論などを通じて、実務に役立つ内容を目指します。
- 対策構築、組織体制のあり方などから、日頃の業務での悩みや疑問について、全体での議論、個々での解決などを組み合わせて進めます。

IT人材メンタルヘルス研究会 開催にあたって

IT部門管理者・リーダーの方々の悩み

- ✓遅刻や無断欠勤する人が目立つ
- ✓休職者が出たために、周りの負担が大変
- ✓納期と品質で手一杯で、人の問題なんて……。
- ✓復職者対応がわからない
- ✓管理しろといわれても、職場がばらばらで……。
- ✓研修は受けたが、実際の指導はむずかしい

スタッフ部門の方々の悩み

- ✓対策の研修や資料配布をしたが、効果が見えない
- ✓問題が顕在化するまで見えないので、対応が後手に
- ✓必要性はわかるが、人員が足りない
- ✓仕組みは作ったが、動かない
- ✓安心して相談できる専門家を知らない
- ✓管理部門からはIT部門の特性を理解しにくい

こんなお悩み、お持ちではありませんか。

メンタルヘルスは、医学的・法律的見地からの問題、さらには個人情報保護の観点からの問題も絡み、対応に苦慮する場合があります。そして、最終的には対応する個人あるいは当該職場が抱え込んでしまうケースが見受けられます。本研究会では、仕組みと運用の両面から研究を行いながら、実際に苦慮しているケースへの対応についても、実践的な検討を行います。



プログラム

<p>第1回 5月21日(水) 14:00～17:00 (終了後懇親会) 日本能率協会 101研修室</p>	<p>基調講演 亀田 高志 氏 「IT部門・IT企業における 職場のメンタルヘルスの実像と対策の考え方」</p> <p>事例発表 「IT企業における企業内メンタルヘルスクアの対策導入まで」 日本オラクル株式会社 産業医 菅 裕彦 氏 <small>IT系企業の専属産業医として、そのお取り組みをお話しいたします。</small></p>
<p>第2回 6月17日(火) 14:00～17:00 (終了後懇親会) 日本能率協会 101研修室</p>	<p>基調講演 亀田 高志 氏 「メンタルヘルス対策に関する 内外専門家・専門機関との連携活用、留意点」</p> <p>事例発表 「外部専門機関との連携・活用事例」 株式会社イーブ 代表取締役社長 西川 あゆみ 氏 <small>外部から見た企業のメンタルヘルス対策のポイントを、外部資源活用を含めてお話しいたします。</small></p>
<p>第3回 7月22日(火) 14:00～17:00 (終了後懇親会) 日本能率協会 102研修室</p>	<p>基調講演 亀田 高志 氏 「現場の対応、IT職場特有の問題点と その対策。各部門の各役割と連携のポイント」</p> <p>事例発表 「現場での対応事例」 株式会社アイ・ティ・フロンティア 人事本部長 星野 信 氏 <small>IT企業として全社的に取り組んできたメンタルヘルス対策の全体像から具体的な独自施策について、お話しいたします。</small></p>
<p>第4回 9月19日(金) 14:00～17:00 (終了後懇親会) 日本能率協会 101研修室</p>	<p>基調講演 亀田 高志 氏 「評価と進捗管理、継続改善のためのポイント」</p> <p>事例発表 「メンタルヘルス対策導入の効果と課題」 株式会社クレディセゾン 人事部長 武田 雅子 氏 <small>企業の立場から、メンタルヘルスクアの仕組み導入から運用への取り組みをお話しいたします。</small></p>

※企画内容は、変更される場合があります。

研究会 主査・基調講演講師

(株)産業医大ソリューションズ 代表取締役社長 亀田 高志 氏

略歴：1991年産業医科大学医学部卒 日本鑑査(現JFEスチール)、日本7イノベーション、IBM Asia Pacific等の産業医を経て2005年7月より現職。日本産業衛生学会指導医・専門医、労働衛生コンサルタント、日本内科学会認定内科医。

専門は労働安全衛生マネジメントシステム、CSR活動と労働安全衛生、職業病の疫学など。現在、産業医科大学 産業医実務研修センター講師として後進の育成に取り組むとともに、企業におけるメンタルヘルス対策推進のコンサルティング、企業内メンタルヘルス研修の講師として活躍中。2006年～2007年にかけて、日経ビジネスオンラインで「事例で学ぶメンタルヘルスのつぼ」連載。産業医大ソリューションズ設立とともに社長就任 ホームページ<http://www.uoeh-s.com/index.html>



IT人材活性化コンソーシアム開催の目的

- IT協会では本研究会を皮切りに、IT人材活性化コンソーシアムをスタートします。
- IT業界ならびに企業内IT部門では、人の働き方や職場の活性化が生産性に大きく影響を及ぼします。IT協会では、IT部門で働く方々やIT業界に係る方々を対象に、元気のあるIT部門づくりを連続的に研究します。
- 今回取り上げる「メンタルヘルス」を含め、円滑なプロジェクト運営の元となる職場活性化や、生産性の維持・向上を図るための各種施策の実践的な検討を、専門家や実務家の方々の相互交流を通じて行っていきます。